

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

(年長組)

幼稚園番号 1973410

園名 子どもの森幼稚園

1. 活動のテーマ

「光」

テーマ設定の理由

園内外には光が多く差し込み、遊びの中で子ども達が興味関心を持てる環境にあるため、遊びの中での子どもの気づきも多く、生活の中野電気・陽・火等の光。保育の中の室内に入ってくる光。自然に恵まれた園庭で見られる光。地域の緑の多い公園での光。水の中や色に見られる光の不思議や疑問の声、子どもの「わくわく」に向き合って、子ども達の不思議や探求心を一緒に楽しめる各学年（3歳児～5歳児）共通のテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

6月 想像画 折り紙を使って色の導入を行う。

9月 光の絵本を見る、実験あそび（プリズムレンズ）、虹を描く

10月～11月 実験あそび（スクリーンで光と影）、園庭で光と影予測と検証

まほうのじゅうたん製作（色々な色を使って試す）

カクテルパーティー（色水で色々な色を作り、光がどう映るか実験）

12月～ 2月 ヒヤシンスを育てる（植物には光が必要？）

ヒヤシンスの観察画

3. 活動の内容

◎折り紙とクレヨンを使って想像画

折り紙をちぎって画用紙に貼る。それをいろいろな物に見立てて、クレヨンを使って想像画を描く。いろいろな色があることを実感する。

◎虹を描く

色々な絵の具の色を用意する。色は自分たちで選び、自由に混ぜて自分の思う虹の色を作り、画用紙に描く。友達の様々な色や形の虹を見て、褒め合う。

◎まほうのじゅうたん製作

折り紙や段ボール、カラーフィルムを用意する。6グループに分かれ、一枚の大きなビニールシートにそれぞれが自由に折り紙を切ったり切り絵を作ったりした物を貼る。6枚を繋げクラスで一枚にする。

実際に電気や空に当ててみて、光を通すとどのように見えるのか実際に行う。光を通すと色が違って見える発見に気づき、「きれい、すごい」と声に出す姿が見られた。

◎カクテルパーティー

色水を作り、色々な色を作る。同じ色ごとに並べて色の濃さによって光がどう映るのか実験する。

4.写真



5, 振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

虹を描く際は、絵本やイラスト写真の絵を参考に虹を描く子どももいれば、自由に発想し自分の思う虹の色を作り、描く子どももいた。どんな絵を描いても講師も子ども達同士も否定する事無く褒め合う姿を見て、子ども達の発想豊かな部分を改めて知ると共に固定概念がない分、同じ「虹」をテーマにしても様々な色と形が出来上がっていた。実際に虹を見に行ったり子ども達から「虹を見つけたよ!」と声が上がったりと活動を通して虹に興味を持つ姿も見ることができた。

まほうのじゅうたん製作では、行った事のある切り絵の技法を思い出しながら自分たちで考えて作っていた。カラーフィルムを重ねて色を作り新しい発見にも気づきながら製作を楽しんでいた。大きなビニールシートに作った物を貼れる事にも、普段あまりない活動の為、新鮮で喜んでいた。作ったものを電気の光に通して見る事で、色の違いやどう光が映るのか自分で体験する事で、その後、光をどう映してみようと、色の組み合わせや切り絵の形を変えて見たり、自分で試しながら作る姿をみて、考えながら先を見通して取り組んでいた。ただ作り、楽しむだけでなく、「光」を考えて作る事が出来ていた。